

参加  
無料

# デザイン思考を用いた 支援機器開発ワークショップ

令和6年度自立支援機器イノベーション人材育成事業

仙台1Day

## 8.31 (土) 9:30-16:30

場所：良陵会館 (仙台市青葉区広瀬町3-34)

支援(福祉)機器は、生活面で支援が必要な障害者だけでなく、支援者側を含めたさまざまな人が使用します。リハビリテーションロボットや介護ロボットなど、近年の支援機器開発は目覚ましい発展を遂げています。しかし、製品が上市に至るには、優れたシーズであるだけでなく、製品化ニーズ、臨床ニーズとの合致に加え、安全性・有効性、事業性など、さまざまな要件を備えなければなりません。本ワークショップでは、障害当事者を交え、バイオデザインプロセスを支援機器に応用し、初期の段階から事業化を見据えた製品の開発方法について学びます。

講師 柿花 隆昭

理学療法士

講師 田上 未来

理学療法士

- ・ 東京大学医学部附属病院バイオデザイン部門 特任助教
- ・ ジャパンバイオデザインAssitant Faculty
- ・ プレモパートナー株式会社  
アクセラレーションマネージャー

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻  
未来医療学寄付講座特任研究員

### 内容

1. ヒアリングを通じてNeedとWantの違いを知ろう。
2. Need Statementとは何?なぜ必要なのか。
3. 絶対売れるための条件 Need Criteriaとは?
4. 解決策をたくさん生み出すコツ How Might We~?を考え、Brainstormingを行おう。
5. 試作品を作る本当の意味を知ろう。
6. 試作品を作ってみよう。

### お申し込み方法

下記QRコードからフォームに必要事項を  
記入のうえお申込みください。



### 募集対象者:定員12名先着順

- ・ 支援機器を開発したい障害をお持ちの方
- ・ 医療福祉専門職(医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、介護福祉士等)
- ・ 大学や研究機関に所属する研究者、エンジニア(医学、工学等)
- ・ 支援機器開発産業に既に参入している、又は将来的な参入を検討している研究開発、製品企画、新規事業等を担当する企業所属の方

詳細：<https://www.premopartners.com/aidp/>

問い合わせ先：company@premopartner.com